

武雄市新文化施設エリア整備基本計画策定委員会会議録

日時	場所	出席 <input type="checkbox"/> 委員(小坂智子氏、三島伸雄氏、黒澤伸氏、朝長勇氏、田中友子氏、溝上剛氏、大島久美枝氏、井上祐次氏、諸石信幸氏、鳥谷唯氏、山口祐香氏、諸岡智恵氏) <input type="checkbox"/> 小松市長(冒頭挨拶) <input type="checkbox"/> 松尾教育長 <input type="checkbox"/> 事務局 こども教育部 文化課 新文化会館整備準備室 生涯学習課
令和4年7月4日(月) 10:00 ~12:30	武雄市文化会館 大集会室 A 他	
1. 協議件名		第1回 武雄市新文化施設エリア整備基本計画策定委員会 ①新文化施設エリア整備基本計画策定委員会の進め方について ②武雄市文化会館・武雄市文化のまちづくり構想について ③現地視察:武雄市文化会館・旧鍋島庭園

議事録

1. 開会・市長挨拶

- ・新たな文化施設を、子どもたちが集いたくなるような開かれた空間、新たな文化が生まれてまちの賑わいに繋がるような場所として欲しい。
- ・50年後を見据えた、革新的な中に武雄らしさを感じる施設を目指した基本計画として欲しい。

2. 委嘱状交付・委員紹介

- ・松尾教育長より12名の委員を代表して、小坂智子氏に委嘱状を交付。
- ・委員長、副委員長、顧問の選出について  
 委員長 小坂智子氏 長崎県美術館館長  
 副委員長 三島伸雄氏 佐賀大学副学長・理工学部教授  
 顧問 黒澤伸氏 金沢芸術創造財団(元金沢21世紀美術館副館長)が就任。

3. 議事

- ①武雄市新文化施設エリア整備基本計画策定委員会の進め方について
- ②武雄市文化会館・武雄市文化のまちづくり構想について  
事務局より説明を行った。

<出席者の意見>

- ・文化で賑わう施設となれば、子どもたちが自信をもって発信できる拠点になっていく。大人が知恵を出して子どもたちを勇気づける場になっていけばいいと思う。
- ・50年後も見据えた場所として考えると、新しいネットワークのありかた人とのつながりなど変化を見越した内容で検討しなくてはならない。武雄らしさは大事だが、より広い視点での繋がり方なども検討する必要があるのでは。
- ・子どもたちが夢をもって、施設として維持管理にかかわる人たちが楽しくないといけない。
- ・核家族が多い中、若いお母さんをどう動かすかも大事である。
- ・アートについて当事者意識がない人が多いと思う。文化を暮らしに落とし込むことが大事。より日常の中に身近に感じられる取り組みが広範囲で行われたら良いのでは。
- ・市民を巻き込む必要があり、若い世代、子どもたちが立ち上がる環境づくりが大事。
- ・ソフト面から話がスタートしたのはとても良い。新しい施設をどう使いたいかの意識を皆さんもっている。ソフトとハードを一体的なものとして考えていきたい。等

③現地視察:武雄市文化会館・旧鍋島庭園

事務局より施設及び庭園の案内を行った。

<改善点・活用のアイデアなど>

- ・大ホールホワイエの活用方法について。観客の交流空間など。
- ・ホールと図書館・歴史資料館との動線について。
- ・施設のどの場所からも借景を活かせるものであってほしい。
- ・外に開かれた新施設とすることが必要。
- ・元々持っているバックグラウンドを活かした新たなものを。
- ・令和の生活に合わない部屋などなくす。等

4. その他(事務局より)

- ・第2回の開催を8月23日に予定。時間等について後日通知を行う。

部長 理事		課長 参事		係長		係員	
----------	--	----------	--	----	--	----	--